

## 第4章 SDGsの位置付け

### SDGs（持続可能な開発目標）とは

MDGs<sup>※1</sup>の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。【外務省HPより】

### 本戦略におけるSDGsの位置付け

本戦略においては、第3章の第1節「未来につながる経済成長のために」においては、ゴール1, 2, 4, 8, 10, 17を、第2節「豊かで持続可能な地域社会のために」においては、ゴール1, 3, 4, 8, 10, 11, 16, 17を関連するゴールとして整理し、目標の実現に寄与する施策を推進していきます（ゴールは、以下の図表1を参照）。

図表1 SDGsの17のゴール



※1 ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals）：平成12（2000）年9月にニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットで採択された、開発分野における国際社会共通の目標